

<b>〔科目名〕</b> 財務分析Ⅱ	<b>〔単位数〕</b> 2 単位	<b>〔科目区分〕</b>
<b>〔担当者〕</b> 田中 哲	<b>〔オフィス・アワー〕</b> <b>時間:</b> <b>場所:</b>	<b>〔授業の方法〕</b> 対面授業
<b>〔科目の概要〕</b> <p>「財務分析Ⅱ」の講義は、「財務分析Ⅰ」を基礎として、「収益性」「安全性」などの各指標を用いた分析技法をより深める形で展開される。「財務分析Ⅰ」では主として、「個別財務諸表」を分析対象としたが、「財務分析Ⅱ」では、「連結財務諸表」分析も視野に入れて講義を行う。</p> <p>「連結財務諸表とは、複数の企業で構成される企業集団を、1つの企業であるかのようにみなして作成する財務諸表」(大阪商工会議所『ビジネス会計検定試験 公式テキスト【第5版】』中央経済社、2020年、21ページ)である。企業集団を構成する企業の間では、一定の「支配従属関係」が存在する。ここで、「支配従属関係」とは、ある企業&lt;A社&gt;が、他の企業&lt;B社&gt;の意思決定機関を実質的に支配しているとき、A社を親会社、B社を子会社といひ、この2社の関係をいう(参考文献:滝沢ななみ『スッキリわかる日商簿記1級 企業結合・連結会計編』)。</p> <p>講義は、教科書に沿って次のように展開する。はじめに、分析対象である連結財務諸表について、その構造と構成について学修する。財務分析は、「財務諸表分析」でもあることを心にこどめておいていただきたい。次に、分析技法としての百分比財務諸表と時系列分析について学ぶ。受講者は自ら分析を行うことを念頭に置いていただきたい。</p> <p>さらに、「財務分析Ⅰ」でも学んだ事項である、「安全性」及び「収益性」について学修する。財務(諸表)分析の中心課題であるので、十分に理解を深めてほしい。「キャッシュフロー分析」がそれに続く課題である。引き続き、「連単倍率」、「セグメント情報の分析」について学修する。</p> <p>さらに、「損益分岐点分析」について学修する。「損益分岐点」とは、「収益と費用の額が一致する売上高(あるいは操業度)」をいひ(大阪商工会議所『前掲書』、267ページ)、企業の採算性を探る手法を「損益分岐点分析」という。最後に、株主の視点からの分析である、「1株当たり指標」と労働生産性を図る重要指標である「1人当たり指標」を学ぶ。</p>		
<b>〔授業科目群・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕</b> <p>「財務分析」の主体は、大きく分けて2種類ある。企業外部者と企業内部者である。</p> <p>「内部者」である「経営者」は、経営政策の策定のために、「従業員」は給与等の支払能力に関心を有する。</p> <p>「外部者」である金融機関は、信用分析(財務分析の起源はこのことにあるといわれている)を行い、支払能力分析や流動性・安全性の判断を行う。現在と将来の株主である「投資者」にとっては、みずからの投資がどれくらいのリターンをもたらすのかについて関心を有する。そのため、収益力、配当率、株価、投資純資産額、株価収益率などを分析する。中央政府は景気動向の把握や産業政策の立案に、課税当局は税負担能力の把握のため、財務内容に関心を有する。</p> <p>経済や経営について学んでいる「大学生」にとっては、将来の就職先である業界分析のため、その代表的企業を分析することにより、定量的な資料を得ることができ、「就職活動」への役立ちが期待される。また、「有価証券報告書」を読み解くことにより、定性的資料を得ることも可能となる。</p> <p>他の科目との関連では、財務分析の内容が、「財務会計」の基礎知識を必要とし、採算性分析については「管理会計」の知見を必要とする。総じて「会計学」の総合的知見が要求される。また、企業経営全般を分析対象とするため、「経営学」とも深い関連を有している。</p>		
<b>〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕</b> <中間目標> 主要財務諸表である、貸借対照表・損益計算書・キャッシュフロー計算書についての理解を基礎として、収益性・安全性などの諸指標についての分析を行うことができる。 <最終目標> 「ビジネス会計検定2級」レベル程度の「財務分析に関する知識・分析手法等」を習得する。		
<b>〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕</b> ○講義開始時に、本講義の概要及び成績評価につき、説明をする。 ○講義中に配布する「財務分析Ⅱノート」を改善する。		
<b>〔教科書〕</b> 大阪商工会議所編『ビジネス会計検定試験公式テキスト2級[第5版]』中央経済社		
<b>〔指定図書〕</b> 指定しない		
<b>〔参考書〕</b> 指定しない		

<b>〔前提科目〕</b> 「会計学基礎論」「財務分析Ⅰ」													
<b>〔学修の課題、評価の方法〕</b> (テスト、レポート等) 期末試験の得点に基づいて成績評価を行う。													
<b>〔評価の基準及びスケール〕</b> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">評価</th> <th>試験得点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>80 点以上</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>80 点未満～70 点以上</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>70 点未満～60 点以上</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>60 点未満～50 点以上</td> </tr> <tr> <td>F</td> <td>50 点未満</td> </tr> </tbody> </table>		評価	試験得点	A	80 点以上	B	80 点未満～70 点以上	C	70 点未満～60 点以上	D	60 点未満～50 点以上	F	50 点未満
評価	試験得点												
A	80 点以上												
B	80 点未満～70 点以上												
C	70 点未満～60 点以上												
D	60 点未満～50 点以上												
F	50 点未満												
<b>〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕</b> ○講義はシラバスに沿って行う予定であるが、諸事情により、シラバス通り進行しない場合もあることを了承願いたい。 ○講義では、第1回目を除き、毎回前回の復習を行う。 ○講義中の私語は「厳禁」であり、それに類する講義進行を妨げる行為も同様である。													
<b>〔実務経歴〕</b> 該当なし													
<b>授業スケジュール</b>													
第1回	<b>テーマ(何を学ぶか):</b> 連結財務諸表(1) <b>内 容:</b> 連結財務諸表とは何か、連結の範囲、連結財務諸表の作成方法 <b>教科書:</b> 第2章第1・2・3・4節、配布資料												
第2回	<b>テーマ(何を学ぶか):</b> 連結財務諸表(2) <b>内 容:</b> 連結貸借対照表 <b>教科書:</b> 第3章第1・2・3・4節、配布資料												
第3回	<b>テーマ(何を学ぶか):</b> 連結財務諸表(3) <b>内 容:</b> 連結損益計算書(1) <b>教科書:</b> 第4章第1・2節、配布資料												
第4回	<b>テーマ(何を学ぶか):</b> 連結財務諸表(4) <b>内 容:</b> 連結損益計算書(2) <b>教科書:</b> 第4章第3・4・5・6・7節、配布資料												
第5回	<b>テーマ(何を学ぶか):</b> 百分比財務諸表と時系列分析 <b>内 容:</b> 百分比財務諸表と時系列分析 <b>教科書:</b> 第9章第2節、配布資料												
第6回	<b>テーマ(何を学ぶか):</b> 安全性分析(1) <b>内 容:</b> 安全性分析(1)－安全性分析とは何か、短期的支払能力の分析 <b>教科書:</b> 第9章第3節、配布資料												
第7回	<b>テーマ(何を学ぶか):</b> 安全性分析(2) <b>内 容:</b> 安全性分析(2)－長期の安全性分析 <b>教科書:</b> 第9章第3節、配布資料												
第8回	<b>テーマ(何を学ぶか):</b> 収益性分析(1) <b>内 容:</b> 収益性分析(1)－収益性分析とは何か、資本利益率、資本利益率の分解(1)…売上高利益率の分析 <b>教科書:</b> 第9章第4節、配布資料												
第9回	<b>テーマ(何を学ぶか):</b> 収益性分析(2) <b>内 容:</b> 収益性分析(2)－資本利益率の分解(2)…回転率の分析 <b>教科書:</b> 第9章第4節、配布資料												
第10回	<b>テーマ(何を学ぶか):</b> キャッシュフローの分析(1) <b>内 容:</b> キャッシュフローの分析(1)－キャッシュフローの分析とは、フリーキャッシュフロー、営業キャッシュフローマージン <b>教科書:</b> 第9章第5節、配布資料												

第11回	<p>テーマ(何を学ぶか): キャッシュフローの分析(2)</p> <p>内 容:キャッシュフローの分析(2)ー自己資本営業キャッシュフロー比率、営業キャッシュフロー対流動負債比率、設備投資対キャッシュフロー比率</p> <p>教科書: 第9章第5節、配布資料</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか): セグメント情報の分析・連単倍率・規模倍率</p> <p>内 容:セグメント情報の分析・連単倍率・規模倍率</p> <p>教科書:第9章第6節、第7節、配布資料</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか):損益分岐点分析</p> <p>内 容:損益分岐点分析ー損益分岐点とは何か、変動費と固定費、損益分岐点指標など</p> <p>教科書: 第9章第8節、配布資料</p>
第14回	<p>テーマ(何を学ぶか): 1株当たり・1人当たり分析</p> <p>内 容: 1株当たり分析ー1株当たり当期純利益、株価収益率、配当性向など</p> <p>教科書:第9章第9節、第10節、配布資料</p>
第15回	<p>テーマ(何を学ぶか): 連結財務諸表分析の実践</p> <p>内 容: 総合問題</p> <p>教科書: 第9章全体</p>
試験	筆記試験の実施